

TOPU NEWS

富山県立大学ニュース

NO.132
| Spring | 2022



p.2-3 Close-Up県大

コロナ禍でも就職活動を積極支援
看護学部では1期生卒業に向けて万全に!

p.4-6 キャンパストピックス

p.6 学生レポート

p.7 研究紹介

p.8 受賞情報

p.9 インフォメーション

p.10 サークル紹介・スケジュール

高い就職率を
維持し続ける
就職活動支援体制を
紹介じゃ!



「ドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

**MAKE
TOYAMA
STYLE**
BEYOND CORONA, WITH US

コロナ禍でも就職活動を積極支援

看護学部では1期生卒業に向けて万全に!

本学の特長のひとつに、就職率の高さがあります。1年生の段階から、キャリア形成のための教育・指導を行い、就職や進学に当たって学生各人の希望が叶い、輝く未来をもたらすための支援を実施しています。キャリア形成を念頭に置いた授業・ゼミを設けるほか、卒業生や業界の先輩を招いて就職活動のアドバイスをいただく機会を持ち、県内企業や医療

機関等の責任者を招聘しての事業所説明会・業界説明会等も開催しています。その支援は、コロナ禍においても変わりません。授業と同様に、本学では早期に就職支援の各種行事にオンラインを導入し、自宅での聴講・聴視を可能としました。今回の特集では、本学の就職活動支援の概要をご紹介します。

キャリアセンター

キャリアセンターは、キャリア形成のための教育・指導を行い、学生の自主性や高い職業意識・能力を育成することを目的としています。入学時から3年間、学年に応じた計画的なキャリア形成支援を行う「キャリア形成論」を実施するほか、進路ガイダンス、模擬面接、合同企業研究会、企業を知る木曜日（愛称=シルモク）、企業情報の提供、個別の就職指導、面接指導、SPI試験対策講習、エントリーシート作成講習会及び個別指導などを早期から行っています。

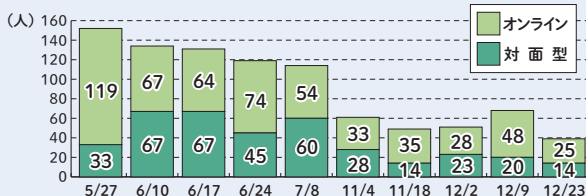


シルモク

シルモクは、県内企業が自社の魅力を学生に紹介する学内企業説明会。工学部の1～3年生、大学院1年生を対象に年間10回程度開催しています。時には、本学OB・OGも登壇し、就職活動のアドバイスをしてくれます。昨年12月23日開催のシルモクに参加した学生（生物工学科3年生）は「医薬品関係の企業以外にも可能性のあることがわかった」とコメント。他にも「公務員志望だけど、民間企業のことを知りたい」「県内にどんな企業があるか知りたくて参加した」（ともに環境・社会基盤工学科1年生）と声を寄せてくれました。



●シルモク 参加人数及び受講方法（令和3年度）



進路ガイダンス

進路ガイダンスでは、主に工学部3年生及び大学院1年生を対象に、学生への進路指導を行っています。令和元年度までは対面での実施でしたが、コロナ禍のため、令和2年度からはオンラインで実施しています。回数は全部で6回で、内容は概ね以下のとおりです。

第1回

大学院進学について
進路選択における留意事項
就職支援サイトの活用方法

第2回

大学院進学について
就職活動留意事項
各学科・専攻毎でのガイダンス
卒業・修了予定者からのアドバイス

第3回

理系学生のための面接対策ガイダンス

第4回

面接指導の振り返り



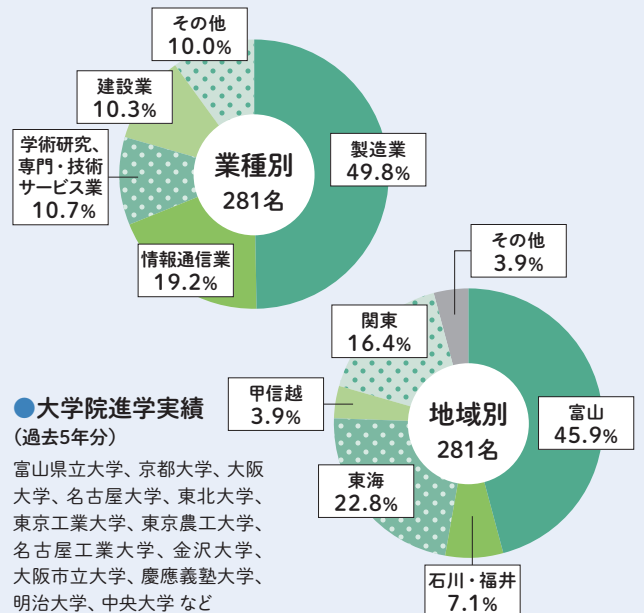
第5回

学内合同企業研究会について
各学科・専攻毎でのガイダンス

第6回

就職活動の現状とその対策
キャリアセンターからの情報提供

就職状況（令和2年度）



●大学院進学実績（過去5年分）

富山県立大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、東北大学、東京工業大学、東京農工大学、名古屋工業大学、金沢大学、大阪市立大学、慶應義塾大学、明治大学、中央大学 など

キャリアセンターサテライト

今年度、就職や進学のカリヤ支援の拠点として、富山キャンパスに「キャリアセンターサテライト」を整備し、学生が進路選択の希望を実現できるようサポートしています。病院や保健福祉関連機関といった医療機関等の採用募集や大学院や助産師・保健師専攻課程等の学生募集、各種奨学金等の情報を整理・配架するほか、実習や就職活動、卒業後の看護職のカリヤ形成にも役立つ幅広い分野の書籍も取り揃えています。また、進路選択や就職活動の参考となる各種セミナーや若手看護職等との交流会、県内医療機関等を紹介する説明会等を実施しています。



支援イベント「交流会」

3年生を対象に富山キャンパスにおいて「若手看護師等との交流会」を開催しました。看護学部では、まだ卒業生がでていないため、他の大学を卒業し県内医療機関等で活躍している看護師・保健師・助産師・進学経験者の方々を「魅力的な先輩」としてお招きしました。

現職の話題はもちろんのこと就職活動の進め方や、国家試験対策、学生時代の思い出等話をしてもらいました。学生から多くの質問が出され、参加した学生たちは悩みや不安が解消されたようでした。



キャリア形成科目

1年次には「初期体験実習」を開講し実際の看護活動を見学・体験することで看護職の多様性等について学びを深めます。また、2年間にわたり「トピックゼミ」として少人数での討議やプレゼンテーション等を実施し、自ら考え創造し表現する能力等を高めます。これらの学修経験を土台とし、3年次からの臨地実習ではあらゆる人々の多様な価値観を尊重し、適切な看護ケアを提供する能力を高めるとともに、県内医療機関等での実習を通して、本県の地域医療に貢献することの魅力伝え、就職に対する動機づけを高めます。



医療機関等説明会

県内医療機関等の協力のもと、県大看護学部生に向けた説明会を開催しています。各医療機関等の雇用条件やキャリアアップ制度など魅力ある職場環境の説明がなされ、また実際に働いている若手看護職も同席しており生の声を聞くこともできます。学生にとっては、実習では知り得ない、様々な看護の現場を知ることができる、貴重な機会となっています。今年度は、セミナー等と併せて計4回開催し、県内各地の22の医療機関等が参加しました。



全国トップクラスの就職率

本学では以上のように、キャリア形成科目と就職支援体制の充実により、学生の将来の就職に対する意識を1年生の時から高めています。先に紹介したシルモクは、キャリア形成論のレポートの課題にもなっています。

その結果、工学部の就職率は毎年ほぼ100%。コロナ禍で厳しい就職活動がなされた中であっても、高い就職率を維持し続けています。看護学部第1期生の卒業は1年後に迫り、

来年度より就職活動が本格化します。今後も学生の希望が叶うよう、就職支援を一層充実していきます。

●工学部卒業生の就職・進学率推移 (%) (各年3月31日現在)

卒業年度	H28	H29	H30	R1	R2
就職率 ※1	100	100	99.3	100	97.7

※1 就職希望者に占める就職内定者の割合

Campus Topics

富山県立大学サマースクール 〈製薬工学コース〉

9月6日(月)から13日(月)の期間で、富山県立大学サマースクール〈製薬工学コース〉をオンラインで開講しました。

このスクールは、富山の医薬品産業を担う人材を育てることを目的に産学官が連携して実施しています。今回は全国から31名の学生が参加して、医薬品の基礎から最先端の製剤技術な



どを学び、県内製薬企業のインターンシップも行われました。

第20回 工学部FD研修会

10月25日(月)に工学部教員を対象としたFD研修会をオンラインで開催しました。FDとは、教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取り組みのことです。

著作物の利用やキャンパス・ハラスメント、学生のメンタルヘルスについての研修のほか、ICTを活用した授業での取り組み事例など参考となる発表が行われました。

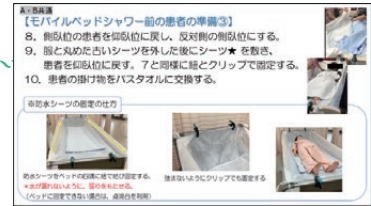


田中耕一特任教授による特別授業

10月13日(水)、本学の特任教授・田中耕一先生(株島津製作所エグゼクティブ・リサーチフェロー)による特別授業がZOOMウェビナーにより開催され、学生・教員約100名が受講しまし

第4回 看護学部FD研修会

2022年の保健師助産師看護師指定規則改正を踏まえ、オンラインによる医学書院主催『カリキュラム編成セミナー』を実施しました(令和3年5月11日(火)~令和4年3月31日(木)閲覧可能)。加えて『ユマニチュード:認知症の人への援助技術』に関する自作の動



動画教材の一部: ベッド上安静の認知症患者さんへの清潔ケア

画教材を6月28日(月)から配信し、9月7日(火)、9日(木)の2日間に分け、Teams®を用いた5~10名の小人数制研修を実施しました。

集中講義「看護ケアとユマニチュードⅠ、Ⅱ、Ⅲ」

看護学部の特徴の一つである「看護ケアとユマニチュード」の集中講義が、1~3年生を対象に9月27日(月)から4日間にわたりオンラインで実施されました。ユマニチュード®はフランス発祥の、知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法です。講師にユマニチュード創始者のイヴ・ジネスト先生(客員教授)、日本に導入された本田美和子医師・林紗美上級インストラクター(非常勤講師)を迎え、看護学部全教員が指導を担当しま

した。ケア実践映像を交えた遠隔授業でしたが、学生の反応は非常に良く、充実した講義となりました。



「AIによる交通事故発生予測の共同研究に関する協定」締結式の開催について

本学と富山県警は、10月1日(金)に富山県警察本部において、「AIによる交通事故発生予測の共同研究に関する協定」を締結しました。

今後、人工知能(AI)を活用した交通事故の原因・傾向を分析する手法と、それらを活用した交通事故抑止策を共同で研究・開発していきます。



【参考】研究メンバー: 榎原准教授(情報システム工学科)、中村准教授(同左)、星川教授(環境・社会基盤工学科)、本吉准教授(知能ロボット工学科)



第6回 英語スピーチコンテスト

10月22日(金)に、第6回 富山県立大学学長杯争奪 英語スピーチコンテストを開催しました。昨年度に引き続き、オンラインでの開催となりましたが、参加者は堂々としたスピーチで日頃の成果を発揮しました。

【学部1年次生の部】Recitation部門

- 優勝 辻美咲(看護学科)
- 準優勝 伏木 愛子(看護学科)
- 第3位 大島 郁弥(生物工学科)



第32回 県大祭 開催!!

10月23日(土)、24日(日)に学生が中心となって行う最も大きなイベントである「第32回県大祭」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者は学内関係者に限定されましたが、「attack all around」をテーマに、オンライン配信をしたステージ企画、射的やe-sports等の飲食を伴わない模擬店など新しい取り組みに挑戦し、大きな盛り上がりを見せました。



富山県立大学秋季公開講座

10月9日(土)、16日(土)、30日(土)の3日間、射水キャンパスにおいて秋季公開講座を開催しました。今回は、生物工学科の教員が講師となり、『未来を拓くバイオテクノロジー』をテーマに講義を行いました。オンラインでの参加者を含め、延べ240名が参加し、「自分の



視野が広がったので、参加してよかった」など嬉しい感想をいただきました。

令和3年度 高校生向け科学技術体験講座

8月2日(月)に大門高校、12月17日(金)に富山東高校の皆さんを対象に講座を実施しました。日頃触れることのない、大学での専門的な講義や実験を大

学の施設を利用して体験することで、科学・技術への関心を高めるとともに、ドンドンマスマス成長する本学の魅力を感じてもらえたのではないのでしょうか。



(8/2大門高校 石坂先生講座)
「地上・宇宙空間での電波観測技術」



(12/17富山東高校 中井先生講座)
「コンピュータが文字・音声を認識する」

(株)アスパコミュニケーションズによる寄附講義

令和3年度後期に、電子・情報工学科において、(株)アスパコミュニケーションズによる寄附講義を開講しました。

我が国のICT分野の最前線で活躍されている研究者や企業経営者等を講師

に招聘し、学生や一般の聴講者を対象に、4回の講義を行いました。

各講義では、講師と受講者との活発なやり取りも見られ、充実した講義となりました。

令和3年度 留学生交流会

11月29日(月)に、第6回「留学生交流会」を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年は例年のランチパーティ形式から夕方の茶話会形式に変更し、中央棟9階で実施しました。4ヶ国からの留学生22名に加え、日本人学生ら合わせて約40名の参加者は、感染防止対策をとりつつ、コロナ禍でなかな

か出来なかった多くの仲間との会話を楽しみ、交流を深めました。



Campus Topics

令和3年度 学長表彰授与式

本学における安全・安心な授業実施に多大な貢献をされた功績を称え、新型コロナウイルスワクチン職域接種にご協力いただいた先生方の学長表彰授与を12月9日(木)付けで行いました。

工学部では長井教授、看護学部では三善准教授、城戸口准教授、工藤准教授、山本講師、鷲塚講師、村田講師、矢野助教、濱野助教、村上助教、三加助教が表彰されました。



令和3年度 とやまワカモノ・サミット

富山県主催の「とやまワカモノ・サミット」が12月19日(日)に射水キャンパスで開催されました。第2部の「ワカモノによる公開コンペ」では、事前の書類審査を通過した6組による公開コンペが行われました。審査の結果、最優秀賞に博士前期課程電子・情報工学専攻1年の加藤哲朗さんと寺田和真さんが提案した「カジュアル起業サポート戦略」が選ばれ、優秀賞には同専攻1年の鈴木賢斗さんが提案した「県庁職員クリエイティブ改革」などが選出されました。



Report from students 学生レポート

大学院における研究室での活動

博士前期課程電子・情報工学専攻1年 小谷 祥悟

私は榊原・中村研究室でデータ分析手法の研究をしています。大学と富山県警察本部との包括連携協定のもと、過去に発生した交通事故データを用いて、先制的な対策で交通事故を予防するというDXの実現を目的として、どのような条件でこういった事故が起きるかを予測しようとしています。富山県固有の事情を考慮した上で予測するために、過去の交通事故要因を解明するとともに、道路の交通量など別のデータを組み合わせることで新たな知識を得ようとしています。

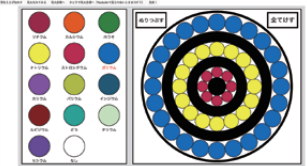
大学院での活動は、研究以外にもダ・ヴィンチ祭向けの出し物(子ども向けオンライン花火シミュレーション・アプリ)の開発や学会運営の手伝い、学部生向け



子ども向けオンライン花火シミュレーション・アプリの開発メンバーで、花火のオンライン打ち上げ画面を確認



研究室における、コロナ下であることを考慮したオンラインミーティングの様子



子ども向けオンライン花火シミュレーション・アプリにおける花火の編集画面

授業の補助など多岐に渡ります。こうした活動を複数の学年からなる多くのメンバーとともに共同で実施するため、成長のきっかけに溢れていると考えています。

今までに二回のオンライン学会発表の機会に恵まれましたが、より多くの発表機会を得られるよう研究を頑張ります。

研究紹介-①

工学部 知能ロボット工学科/准教授 モクタリ パーハム(左)
講師 森川 大輔(右)



ヒトが声を出すところから聴くところまで

着任して3年のオーストラリア出身モクタリと5年の本学OB森川の2研究室の共同で、音声や立体音など音に関する研究を広く行っています。モクタリ研の主な研究はヒトが音を発するところから音が耳まで伝達されることまでのシミュレーション、森川研の主な研究は音が耳まで伝達されることからその音をヒトが知覚するまでの実環境での測定です。

音声合成・認識はすでに様々な機器で応用されていますが、合成はアナウンサーのような声しか作ることができず、認識は声を文字に変換するだけです。しかし、ヒトの声には個性や年齢、健康状態、感情などが含まれています。将来のロボット等がより自然に話し、ヒトの声から文字以外の情報を理解できるようにするために、声はどう生成されるか、声はどう知覚されるかを研究しています。

ヒトは立体的な音の知覚や、無数の音の中から一つ

の音を選び聴くことができます。ロボットの操作時やVRシステム等では、この能力を有効に使えることが理想ですが、現在はうまくいきません。また、機械による音の方向推定や目的音の検出技術も、2つの耳だけで行っているヒトと比べると劣っています。これらを解決するために、ヒトがどう立体的な音を知覚しているか、頭や耳の形で音の伝達はどう変化するかを研究しています。



研究紹介-②

工学部環境・社会基盤工学科/講師 端 昭彦



水環境中の健康関連微生物調査

水を飲んでお腹を壊す、と言うとどこか遠い国の話、もしくは遙か昔の話に思えるかもしれませんが、現代の日本とて必ずしも例外ではありません。例えば2019年には兵庫県で水道水が原因と見られるノロウイルス集団感染が起きています。このような集団感染事例は突発的な汚染や水処理の不具合がない限り、ほぼ起こり得ません。しかしながら、1人、2人が感染する程度の散



プール水を対象とした調査の様子

発事例は、平常時であっても誰にも気づかれずに発生している可能性があります。また、このような病原微生物はヒトや他の動物の体内で増殖し、排出された結果として水を汚染します。

私たちの研究室では水中の病原微生物やその他生物の調査研究に取り組んでいます。調査を通じて、感染リスクはどの程度か、どのような動物が水を汚染しているのか、地域内でどのような感染症が流行しているのか等の情報が得られます。特に最近では水中の新型コロナウイルス調査により地域内の流行状況を推測する試みが広く行われており、私たちも同様の調査に取り組んでいます(水を介した新型コロナウイルス感染はほぼ起こらないと考えられ、そのような事例もありません)。研究を通じて、リスクの実態、リスクの管理策、さらには通常の疫学調査では見えにくい感染流行の実態などを明らかにしていきたいと考えています。

教員の受賞

受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

北島 友香 助教/看護学部看護学科

第23回日本母性看護学会学術集会優秀賞(研究報告部門)

「分娩後から初回排尿までの褥婦の膀胱機能の特徴」北島友香、西村香織、三加るり子、松井弘美(本学看護学部看護学科) R3.6.25受賞

呉 修一 准教授/工学部環境・社会基盤工学科

アウトスタンディング・ディスカッション賞

第65回水工学講演会の活性化に多大な貢献 R3.10.1受賞

寺島 修 准教授/工学部機械システム工学科

ウッドデザイン賞 ハートフルデザイン部門

クリプトメリアシリーズ ウクレレ(共同受賞) R3.10.14受賞

大倉 裕貴 助教/工学部電気電子工学科

吉河 武文 教授/工学部電気電子工学科

岩田 達哉 講師/工学部電気電子工学科

第38回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
優秀ポスター発表賞

変調信号を用いた半導体式ガスセンサの温度制御手法の提案とこれによる単一素子でのガス識別(共著論文での受賞) R3.11.11受賞

榊原 一紀 准教授/工学部情報システム工学科

中村 正樹 准教授/工学部情報システム工学科

公益社団法人 計測自動制御学会 2021年システム・情報部門
SSI研究奨励賞(共著論文での受賞)

自動運転車群運行の全体最適化 R3.11.22受賞

学生等の受賞

学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

石川 彰真 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻2年

土木学会 第29回地球環境シンポジウム 優秀ポスター賞

指導教員: 准教授 呉 修一 R3.9受賞

木瀬 智子 博士前期課程生物・医薬品工学専攻1年

6th Toyama-Base Joint Symposium 2021, Silver prize

指導教員: 講師 安田 佳織、特別研究教授 榊 利之 R3.9受賞

寺迫 太陽 博士前期課程環境・社会基盤工学専攻1年

令和3年度土木学会全国大会 第76回年次学術講演会優秀講演者

指導教員: 講師 兵動 太一 R3.10受賞

吉岩 慎之助 工学部知能ロボット工学科4年

松本 幸輝 工学部知能ロボット工学科4年

山田 麻衣 工学部知能ロボット工学科1年

令和3年度福祉用具・アイデアコンクール 入賞(発明倶楽部の活動で受賞)

指導教員: 教授 神谷 和秀、准教授 伊東 聡 R3.11受賞

李 喆 工学部機械システム工学科4年

森崎 稜磨 博士前期課程機械システム工学専攻2年

テクノアイデアコンテスト テクノ愛2021 奨励賞

指導教員: 准教授 寺島 修 R3.11受賞

清瀧 亮 工学部機械システム工学科4年

内藤 匠海 博士前期課程機械システム工学専攻2年

李 喆 工学部機械システム工学科4年

小野 皓平 博士前期課程機械システム工学専攻1年

テクノアイデアコンテスト テクノ愛2021 奨励賞

指導教員: 准教授 寺島 修 R3.11受賞

重 昂輝 工学部機械システム工学科4年

西川 礼恩 博士前期課程機械システム工学専攻2年

テクノアイデアコンテスト テクノ愛2021 準グランプリ

指導教員: 准教授 寺島 修 R3.11受賞

森 寛喜 工学部機械システム工学科3年

三宅 春希 工学部知能ロボット工学科4年

(公社)日本設計工学会 設計コンテスト2021
第3位入賞及び優秀発表賞(発明倶楽部の活動で受賞)

指導教員: 教授 神谷 和秀、准教授 伊東 聡 R3.11受賞

佐伯 真彬 博士前期課程電子・情報工学専攻1年

第38回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
優秀ポスター発表賞(共著論文での受賞)

指導教員: 講師 岩田 達哉 R3.11受賞

吉田 暉 博士前期課程電子・情報工学専攻1年

松崎 仁平 博士前期課程電子・情報工学専攻2年

公益社団法人 計測自動制御学会 2021年システム・情報部門
SSI研究奨励賞(共著論文での受賞)

指導教員: 准教授 榊原 一紀 R3.11受賞

伊藤 聖大 工学部知能ロボット工学科4年

日本知能情報ファジ学会北信越支部奨励賞

指導教員: 教授 高木 昇 R3.12受賞

中西 大斗 工学部知能ロボット工学科4年

日本知能情報ファジ学会北信越支部奨励賞

指導教員: 教授 高木 昇 R3.12受賞

青木 友哉 工学部電子・情報工学科4年

電子情報通信学会北陸支部 2021年度 電気・情報関係学会北陸
支部連合大会 学生優秀論文発表賞

指導教員: 教授 吉河 武文 R4.1受賞

五十嵐 竜也 博士前期課程電子・情報工学専攻2年

電子情報通信学会北陸支部 2021年度 電気・情報関係学会北陸
支部連合大会 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中村 正樹 R4.1受賞

坂井 浩志郎 博士前期課程知能ロボット工学専攻1年

電子情報通信学会北陸支部 2021年度 電気・情報関係学会北陸
支部連合大会 学生優秀論文発表賞

指導教員: 講師 中井 満 R4.1受賞

島崎 凌 博士前期課程電子・情報工学専攻1年

電子情報通信学会北陸支部 2021年度 電気・情報関係学会北陸
支部連合大会 学生優秀論文発表賞

指導教員: 教授 吉河 武文 R4.1受賞

不破 弘貴 博士前期課程電子・情報工学専攻1年

電子情報通信学会北陸支部 2021年度 電気・情報関係学会北陸
支部連合大会 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中田 崇行 R4.1受賞

Information 1 学位記授与式

令和3年度富山県立大学学位記授与式を以下のとおり
 挙行します。

なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況等により実
 施方法等が変更となる可能性があります。情報は大学公式
 HPでお知らせしますので、ご確認ください。

【概要】

- ◆日時 令和4年3月19日(土) 午前10時30分～
- ◆会場 アイザック小杉文化ホール ラポール
 (射水市戸破1500番地)
- ◆その他
 - ・駐車場は数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関を
 ご利用ください。
 - ・当日の式典の様子は、富山県立大学HPにて同時中継します。
 - ・新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、式典後の謝恩会
 (立食パーティー)は、開催しません。



Information 2 富山県立大学県民開放授業(オープン・ユニバーシティ)

～令和4年度前期受講生募集～

本学では、地域の方々に正規の授業を公開する県民開
 放授業(オープン・ユニバーシティ)を実施しています。簡
 単な手続きとリーズナブルな受講料で、教養教育科目や
 専門科目などバラエティに富んだ授業を学生と一緒に受
 講いただけます。

- ◆募集期間 令和4年3月22日(火)～4月1日(金)
- ◆授業期間 令和4年4月8日(金)～8月12日(金)
- ◆公開科目 **【一般教養科目】**
 社会学I、心理学I、数学Iなど
【工学部専門科目】
 機械力学、ロボット工学基礎、
 バイオ医薬工学など
- ◆受講料 1科目5,000円(複数科目の受講可能)
 ※研究協力会員は半額助成となります。

◆お申込み・お問い合わせ先

新型コロナウイルス感染症の発生状況等
 により、内容が変更となる可能性があります。
 ※詳しくは右記大学HPをご確認ください。

富山県立大学地域連携センター(受講生窓口)

〒939-0398 富山県射水市黒河5180

TEL : 0766-56-0604 FAX : 0766-56-0391 E-mail : openuniv@pu-toyama.ac.jp

URL : https://www.pu-toyama.ac.jp/regional_alliances/lifelong_learning/open_university/

Information 3 公立大学法人富山県立大学安否確認システム(ANPIC)

●安否確認システム(ANPIC)について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認シス
 テム(ANPIC)」を導入しています。富山県で「震度6弱」
 以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さん
 に登録していただいているメールアドレス等にANPICか
 ら安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否
 状況を報告することになっています。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害
 による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動
 でメール配信を行います。

●安否検索

ANPICは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索
 して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合があ
 りますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログイン
 サイト】のURL*にアクセスして、安否検索をご利用くだ
 さいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時
 は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が
 学生及び教職員の安否を確認できるよう一時的に公開
 します。

※本学のホームページの安否確認システムのサイトに掲載しています。



弓道部



こんにちは!富山県立大学弓道部です。

弓道部では、弓道を通して武道の楽しさや日々上達していく達成感を味わうことができます。

また、私たちは、学年の枠を超えて学生が交流することも目標にして活動していますので、少しでも弓道に興味のある方や他学年、他学科の学生と交流を深めたい方にオススメです。

ここで弓道の魅力を少し紹介します。弓道は的に向かって矢を放つのですが、中り(あたり)に関係なく矢が飛ぶということにまず感動します。さらに、矢が的に中ると気分爽快です!仲間と励まし合い、喜び合えるのも弓道の醍醐味だと思います!

今年度できたばかりの部活動なので、大会や段級審査などへは参加できていませんが、今後参加していきたいと考えています。

経験の有無に関係なく弓道に興味がある人、大学でコミュニティの輪を広げたい人は、ぜひお声がけください!Instagramで活動の様子もアップしているので興味のある方は是非覗いてみてください!

(Instagramアカウント: tpu_kyudo)

(機械システム工学科・3年 弓道部代表 石尾遼太郎)

Schedule

スケジュール【令和4年度】

April
4月

- 6日 入学式
- 8日(金) 前期授業開始

射水キャンパス

- 3月29日(四)~4月7日(日) オリエンテーション
- 5日(四)~7日(日) 学生定期健康診断

富山キャンパス

- 1日(金)~7日(日) オリエンテーション
- 12日(四)~14日(日)、28日(日) 学生定期健康診断

May
5月

- 30日(月) 研究協力会総会

June
6月

- 1日(日) 学生球技大会
- 下旬 対面型オープンキャンパス(工学部)

射水キャンパス

- 下旬 大学院工学研究科入学者選抜

July
7月

- 上旬 サークルリーダー研修会
- 下旬 対面型オープンキャンパス(工学部・看護学部)

※令和4年2月1日現在の予定です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。

WEBアンケート実施中!

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、
本学オリジナルグッズ(文房具等)を
進呈いたします。

ご回答はコチラ▶



<https://www.pu-toyama.ac.jp/questionnaire128/>

編集後記

本学では毎年、就職を希望する学生のほぼ100%が願いをかなえている。学生にとって就職は、これからの人生に大きな影響を与えることは明らかであり、そのため本学では、学生の人生を見渡した就職支援に多くの力を注いでいる。私自身も数十年前に大学院を修了し、その後企業に20年以上在職した後に本学の教員に落ち着いているが、世の中の組織の一員として社会を生き抜くためには、工学や看護学分野などの専門的な分野の知識や技術は必要であると思う。

そして、それらは大学の専門科目を通して学習することになる。しかし、それだけでは生き物のように変化する世の中に長期にわたって対応し続けることは困難であると思う。社会の人々とうまく関わりながら仕事を進める対人的なスキルや精神的な鍛錬も必要といえるだろうし、技術とは直接関係のない政治や市場などの状況を把握する手段も身に付けておく必要があるだろう。このように本来の就職支援とは、単なるジョブマッチングではなく、社会に出てから後のこと

も念頭に行われるべきものである。本学には私のような企業就業経験者が多い。本学の特色でもあるキャリア形成支援科目の1つである各種のゼミを担当する中で、自らの経験をもとに身に着けるべきキャリアについて深く、熱く語っていることだろう。本号の特集はズバリ本学が取り組む「就職支援」であり、本学が実施する取り組みについて紹介している。是非、ご一読頂きたい。

(広報・情報委員長 鳥山 朋二)

